

DP1：研究分野における高度な専門性	DP2：調査分析能力、研究遂行能力	DP3：課題設定・解決能力、探究力	DP4：主体性、実行力	DP5：協調性、柔軟性
「経済理論研究」、「経済史・思想史研究」、「国際・地域研究」、「応用経済研究」、「租税法・会計研究」などの幅広い研究領域から経済学理論を体系的に修得し、かつ各分野における高度な専門知識を身に付けている。	経済学的思考法を駆使して、社会諸問題に対し定性的・定量的な分析を試み、独立して社会の諸問題を解決できる能力及び独創的な視野で学問の探究を継続できる能力を身に付けている。	専門分野に新しい知見を付与できるハイレベルの研究遂行能力を身に付けている。	世のため、人のために尽くす公徳心を有し、経済学の専門家として学界の最新成果の摂取に努め、修得した知見を広く社会に還元する意思と能力を持っている。	歴史や文化を尊重し、多様な価値観を認める包容力を持ち、異分野の専門家とも協働しながら、日本と世界が抱える複雑な経済問題の解決に取り組む意欲を持っている。

